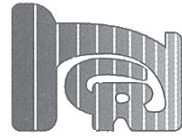


# フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<https://www.chubuh.johas.go.jp/>



## 副院長就任のご挨拶

副院長 原田 憲

盛夏の候、皆様お変わりありませんでしょうか。

平素は当院の診療にご理解いただきありがとうございます。

丸井副院長の退職に伴い、令和5年4月より副院長、並びに救急部長(兼任)を拝命しましたことをご報告申し上げます。なお循環器内科の診療も引き続き行って参りますのでこれまで同様、暖かいご支援をお願い申し上げます。

さて、救急部長としての使命は、地域の皆様に質の高い医療を提供し、安心と信頼をお届けすることと考えています。新型コロナウイルス感染症への対応も変換期に入

り、未知の事象も多いですが、先生方のご経験や知識に学びながら、より一層の救急外来の充実を目指していく所存です。

今後もより良い医療を追求し、皆様に信頼される病院であり続けることを目指し、地域医療に貢献できるよう精進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 今月号のお知らせ

- ①副院長就任のご挨拶…………… 副院長 原田 憲
- ②看護部長着任のご挨拶  
…………… 看護部長 佐藤 信枝
- ③メディカルサポートセンター長就任のご挨拶  
…………… 院長補佐 篠田 典宏

- ④看護副部長およびメディカルサポートセンター副センター長就任のご挨拶  
…………… 看護副部長 鈴木 陽子
- 編集後記  
当院の理念 当院の基本方針



## 看護師



# 看護部長着任のご挨拶

看護部長 佐藤 信枝

4月1日付けで、看護部長に着任しました佐藤信枝です。よろしくお願いいたします。

中部ろうさい病院には新人看護師から育ていただきました。2018年から関東労災（2年）・浜松労災（3年）に看護副部長、看護部長として勤務しました。この5年間は他施設を知り視野が広がることも、中部ろうさい病院を客観的に見ることができた貴重な経験でした。その間に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、コロナ禍の3年間は浜松労災病院でコロナ対応を経験しました。ようやくコロナも落ち着き通常の医療体制に戻つつあります。

前回の診療報酬改定により、病院の機能分化が進み、より急性期病院に求められる役割が明確になってきています。入院治療

終了後の生活を見据え、早期からの退院支援、転院調整が必要になってきています。当院では昨年度MSC（メディカルサポートセンター）が開設され、地域の皆様が安心して入院生活を送れること、住み慣れた地域へ帰ることを目標に、入院前から退院を見据えた支援に力を入れています。入退院支援部門に看護師を配置し、多職種（看護師・薬剤師・メディカルソーシャルワーカー・事務等）が協働し専門性を発揮した支援を開始しています。また病棟看護師と退院支援看護師の退院前訪問や退院後訪問も実施し、患者さんの退院後の生活も支援しています。今後も地域の施設との連携を強化し、地域の皆様が安心して生活できる支援を実践していきます。





医師



## メディカルサポート センター長就任のご挨拶

院長補佐 篠田 典宏

梅雨が開けいよいよ夏

本番を迎えるこの頃、皆さまにおかれましては当院のご利用まことにありがとうございます。

4月からメディカルサポートセンター(MSC)室長に着任しました循環器内科の篠田典宏です。

昨年4月にMSCが開設され、1年が経過しました。

「入院する前の患者さまの不安を少しでも和らげる。」「退院後の患者さま、ご家族さまの生活がスムーズに行くよう、また、後方病院、施設に転院される方は円滑に行うようにサポートする。」「社会福祉、保障制度案内など様々な医療相談に対応する。」これらを看護師及びソーシャルワーカーを中心に支援させていただく事を目標にスタッフ一同頑張っております。

当院は、名古屋南地区の急性期医療を担っていく役割を持っております。

入院後、急性期を脱し病状が安定した際

には、退院や転院をお願いすることもあるかと思いますが、重篤な方が入院できず、必要な医療を受けられないことを避けるためです。ご理解のほど、何卒よろしく願いいたします。

また、厚生労働省からも「かかりつけ医」を持つことが推奨されておりますが、病態が安定した方には「かかりつけ医」への受診を薦めさせていただくことがあるかもしれませんので、その際は、ご理解のほどよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症も2類から5類へと代わり社会情勢や生活スタイル等も変わってきております。

高齢化社会を迎え、たくさんの方が病院への受診が必要になってきています。一人でも多くの人々の急性期疾患に対応し、地域を支えていく病院として、その役割をしっかりと果たしていきたいと思っております。

今後ともよろしく願いいたします。



## 看護師



# 看護副部長および メディカルサポートセンター 副センター長就任のご挨拶

看護副部長 鈴木 陽子

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。

平素よりご紹介を賜り、厚く御礼申し上げます

このたびの看護副部長兼メディカルサポートセンター副センター長を拝命しました、鈴木陽子と申します。私は、25年前当院に就職し、看護師として働き始めました。新人の頃は、辛いことも多くありましたが、同じ志を持つ先輩と看護を語るようになり、いつしか看護の面白さに魅了されていきました。その中で強く実感したことは、いつでも中心には患者さんが存在し、それぞれの専門職が最高のスキルを発揮することが、退院後の患者さんの生活を豊かにするということです。これまでの経験が私の基盤になっています。

社会では、団塊世代が75歳以上となる2025年を目処に地域包括ケアシステムを

構築することが掲げられ、病院完結型医療から地域完結型医療へと変化しつつあります。また、地域では、連携システムの構築、患者の症状に応じた医療の提供が推進されており、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送れる社会の実現が掲げられています。当院でも、昨年度メディカルサポートセンター（地域医療連携、入退院支援、医療相談、がん相談）を設置し、入院前から退院に向けて関わるようになりました。しかし、まだ効率的に機能しているとは言えない状況であり、今後さらに地域と密に連携していく必要があります。当院が、急性期病院としての機能をはたせるように、メディカルサポートセンターが何をすべきかを、メディカルサポートセンター長を中心に、病院が一丸となり日々精進していきたいと考えております。

## 編集後記

梅雨も明け、猛暑の日々となりました。炎天下では、熱中症になりやすいです。体調の変化を感じましたら、涼しい場所へ移動し、水分補給を心掛けましょう。また、エアコンの冷房が原因の“夏の冷え”もあります。室内外ともに体調を崩しやすい季節ですが、涼を取り入れつつ夏を楽しみたいですね。

## 当院の理念

納得、安心、そして未来へ

## 当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供